



訓中野球部全道大会で活躍

北見支部代表として見事な戦いぶり

渡島管内知内町などで開催された全日本少年軟式野球北海道大会に、訓子府中学校野球部が北見支部代表として出場しました。

7月14日の1回戦で砂川中学を1-0で下し、見事初戦を突破しました。15日の2回戦では中標津広陵中学と対戦し2-3で惜しくも敗れましたが、出発前に堰代大智キャプテンが「一戦一戦普段どおりの野球をし、町民の皆さんに勇気と感動を与えたい」と話していたとおり、全道大会でも部員は大活躍しました。

訓中野球部は、6月に開かれた北見支部予選で優勝し、全道大会への切符を手にしていました。



公民館30周年記念事業 秋川さんのコンサートで 町民合唱団が共演

町公民館開館30周年記念事業として、テノール歌手の秋川雅史さんとNHK交響楽団メンバーの弦楽五重奏名曲コンサートが7月18日、町公民館で開かれました。

N響メンバー5人がクラシックの名曲を演奏したほか、秋川さんが「フニクリ・フニクラ」などの歌曲を披露しました。

また、43人の町民合唱団も舞台に立ち、秋川さんのヒット曲「千の風になって」を秋川さんとともに歌いました。

会場には町内外から約600人が訪れ、秋川さんの歌声やN響の演奏に聞きほれていました。



「大きくなってね」

園児と河川愛護の会がヤマベ放流



訓子府幼稚園園児約50人が参加して、オホーツク河川愛護の会のヤマベ稚魚放流が、6月26日に常呂川の叶橋下流で行われました。訓子府管内の河川工事などに関係する企業で構成する河川愛護の会は、きれいな河川を守り、溪流釣りなど河川と親しむことができる環境づくりを推進しています。この日は、会員ら25人が参加し、園児とともにヤマベの稚魚1万匹を放流しました。園児は「早く大きくなってね」と稚魚に呼びかけながら、広い川に放していました。

ご遺族など90人が参列し戦没者追悼式

訓子府町戦没者追悼式が7月15日、忠魂碑前で行われ、ご遺族や関係者約90人が参列しました。戦没者に対して黙祷を行ったあと、菊池町長の式辞に続いて、参列者一人ひとりが献花し、戦没者の英霊を追悼しました。訓子府町の戦没者は、ご遺族の所在が不明な方も含めて224人となつています。また、町内の遺族は105人、町外が94人となっています。



野生大麻根絶へ抜き取り作業

4万本以上除去



町内に自生する大麻の抜き取り作業が7月11日に行われました。ライオンズクラブをはじめ、仁木薬局、防犯協会、訓子府高校、訓子府消防団、訓子府駐在所、北見保健所、町から合わせて60人が参加しました。

6月から9月までの野生大麻・不正けし撲滅強化期間にちなみ、北見保健所管内で毎年抜き取り作業が行われています。

暑い中にもかかわらず、参加者は人の背丈より伸びている野生大麻を1本1本抜き取り、撲滅に向けて汗を流していました。この日は、約4万1,000本を抜き取り、処分しました。

図書館から

新しい本が入りました

歌え！多摩川高校合唱部

本田 有明／著

小説

神奈川県多摩川合唱部がNHK学校音楽コンクール全国大会に出場した実話をもとに綴った青春感動物語。「必ず出ます」と先輩に誓ったもの…。



秘密基地の作り方

尾形 孝弘／著

一般書

生きる力をたくましく育てる「秘密基地」作りのススメ。構想を固め、場所を見つけ、材料を集め、組み立てて、仲間と遊ぶ。



こわかったあの日にバイバイ！

アナ・M・ゴメス／作

トラウマの治療法として注目を集める「眼球運動による脱感作と再処理法（EMDR）」を子ども向けに絵本形式で解説。



絵本